

令和4年度事業評価結果(課・室)総括表

会計区分 一般会計
課・室名 義務教育課 (単位:千円)

事業名	区分	経費区分	福井県長期ビジョンにおける位置づけ	関連する県の計画等	事業区分			事業開始年度	経過年数	令和5年度予算額	財源内訳				評価に基づく今後の対応											
					実行予算	補助金	その他				国庫	起債	その他特定財源	一般	拡充	継続	整理統合	縮減	休止	廃止	終期の見直し	完了	その他	見直し額		
外国語指導助手配置事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○		○	S45	54	61,632	0	0	0	61,632	○										0	
個性を引き出す俳句創作活動支援事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			R4	2	717	0	0	0	717			○									775
道徳教育総合推進事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			H23	13	2,996	2,996	0	0	0			○									13
小中学校タブレット端末活用モデル事業	新規	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県学校教育DX推進計画(仮称)	○			R5	1	35,386	0	0	0	35,386												0
小中学校「ふくい理数グランプリ」事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			H20	16	1,187	0	0	452	735	○											0
芸術教育推進事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○	○		R2	4	14,433	0	0	0	14,433			○									9,577
部活動地域移行研究事業	終了	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			R3	2	0	0	0	0	0										○		0
地域文化部活動体制整備事業	新規	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画		○		R5	1	4,112	1,000	0	0	3,112												0
「引き出す・楽しむ教育」推進事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			R3	3	655	0	0	655	0			○									347
福井県学力調査データ処理業務委託事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			R2	4	3,498	0	0	0	3,498	○											0
ふるさと教育推進事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○	○		R4	2	8,061	0	0	717	7,344	○											0
公立小・中学校再編支援事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画		○		H23	13	28,513	0	0	0	28,513	○											0
SNS相談事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			R2	4	14,245	4,748	0	0	9,497			○									1,071
弁護士を活用した「いじめ予防授業」実施事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			R2	4	1,110	0	0	0	1,110	○											0
幼児教育支援事業	継続	政策的・標準外	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○			H25	11	5,905	88	0	0	5,817			○									2,169
英語力向上事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	○	○		H23	13	36,700	245	0	0	36,455	○											0
外国人児童生徒等支援事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画、多文化共生推進プログラム	○	○		H31	5	23,558	11,710	0	0	11,848	○											0
嶺南嶺北体験・探求活動支援事業	継続	政策的経費	I 学びを伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画		○		R2	4	3,100	0	0	0	3,100			○									3,300
					15	6	2				245,808	20,787	0	1,824	223,197	0	8	0	7	0	0	0	1	0	17,252	

外国語指導助手配置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 S45 年度 経過年数 54 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等			[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題] 英語教育、国際理解教育において、生きた英語に触れること、国独自の様々な文化を理解することが望ましい。						[問題・課題を表す客観的データ] R4年度に実施したGTECの結果より、「読む、書く、話す、聞く」の4技能のうち、「読む、聞く」の技能が全国平均と比較して低い水準となっている。 (読む 県:97.0、全国:99.0) (聞く 県平均:103.1 全国:104.0)						
[事業目的] 外国語指導助手の配置を行い、中学・高校生に生きた英語に触れる機会を提供し、国際社会で活躍できる人材を育成する。												
[事業内容] ①配置人数 106名(中学校69名 高校36名(中国語1名含む) 義務教育課1名) ②業務内容 (1) 英語および中国語の授業における教材作成等の授業準備およびティーム・ティーチングなど (2) 英語教育に関する活動(中学校英語セミナー、放課後に生徒と英会話教室など)の支援 (3) クラブ、部活動の補助など												
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 約76,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 私立高等学校教育振興補助金 (役割分担) ・私立高校にALTを配置するための経費を補助(大学私学課)					
市町との連携状況	・授業に支障がない範囲で、小学校の要請を受けて、中学校配置ALTが小学校で英語指導を行う。					他県の状況	石川県 ・県立学校、教育センターに44名の英語指導助手を配置 富山県 ・高校に英語指導助手37名を配置					

外国語指導助手配置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	S45 年度 経過年数 54 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営							□ 補助金					■ その他
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	61,632				61,632	地方創生臨時交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		575,827	61,049	66,696	60,366	61,632	A L T が来日するための渡航負担金の増額						
2月現計予算額の推移		560,091	47,511	66,696	58,862								
決算額の推移		555,762	32,513	52,820									
前年度までの 主な増減理由	令和元年度 A L T の帰国率低下に伴い帰国旅費などの減額 令和2年度 A L T の給与、共済費などを会計年度任用職員分として教育政策課で要求したため減額 令和3年度 コロナ感染症の影響に伴う、東京での待機期間分の宿泊料、PCR検査代等を増額 令和4年度 A L T が来日するための渡航負担金の増額												
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	英語授業時間の半分以上英語を使用する学校の割合(%) (目標) 実績	(75) 87.6	(75) —	(75) 77.9	(75)	(75)	(90)	(100)	現在の実績を踏まえて、中間目標を90%に設定 令和2年度はコロナの影響により調査を中止。				
活動指標	A L T 配置人数(人) (目標) 実績	(107) 107	(107) 77	(107) 98	(107)	(106) 107							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
活動指標については目標どおり達成することができた。 成果指標については5月以降に結果が判明。令和3年度は達成しているが、令和元年度と比較して低下している。 (外的要因) コロナの影響により、授業中の会話や音読が困難な状況であるため				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

個性を引き出す俳句創作活動支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R5 年度	
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
・超一流の指導者による指導機会を設け、文芸作品の創作に関心の高い児童生徒の育成に生かす体制づくりが必要						R4実施の俳句コンクールにおいて市町ごとに提出作品数に大きく差があったことから、全県的に創作活動に取り組む児童生徒を育成する取組が必要（福井市982、敦賀市431、小浜市2、大野市0、勝山市157、鯖江市132、あわら市90、越前市377、坂井市583、永平寺36、池田町20、南越前町2、越前町157、美浜町158、高浜町65、おおい町0、若狭町22、その他(県立・附属・私立)233)					
[事業目的]											
年齢を問わず楽しめる俳句を創作・鑑賞する活動をとおして、児童生徒の豊かな感性や創造性を育み、個性の伸長につなげる。											
[事業内容]											
夏井いつき先生の審査による「福井県子ども俳句創作コンクール」 【対象】 県内の小・中・高校生 ・授業等で創作した俳句のコンクールを開催。 ※作句の具体的な応募方法は、YouTube「夏井いつき俳句チャンネル」等も活用 ・夏井いつき氏による審査と優秀作品の表彰を行うことで、創作活動に対する意欲を喚起 ※表彰式は夏井いつき氏出席、入選句解説のオンライン配信などを予定											
[受益者] 県内の小・中・高校生						[想定される受益者数] 74,245人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

個性を引き出す俳句創作活動支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	三崎 光昭
事業主体	県			事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	717					717							
[予算額の推移等]													(単位：千円)
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					1,492	717	教員対象の俳句創作研修の終了に伴う減額						
2月現計予算額の推移					1,492								
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	福井県子ども俳句コンクール出品数(句) (目標) 実績				(1,000) 6,773	(7,000)	(7,000)	(7,000)	R4年度実績をもとに上方修正				
活動指標	福井県子ども俳句コンクール参加者数(人) (目標) 実績				(1,500) 3,447	(3,500)	(3,500)	(3,500)	R4年度実績をもとに上方修正				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
小・中・高校生を対象に俳句コンクールを開催し、成果指標・活動指標ともに目標を大幅に超えて達成できた。				教員向けの研修会において俳句の指導や鑑賞について研修を実施し、指導方法の習得という目的を果たしたため、令和5年度からは子どもを対象としたコンクールのみ実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	775		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

道徳教育総合推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	県、市町				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度	
事業実施方法	直営、委託										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 道徳教育について、家庭や地域社会との共通理解を深め相互連携を図ることが必要である。						[問題・課題を表す客観的データ] 全国学力・学習状況調査において『将来の夢や目標を持っている』と回答した児童生徒の割合 (R4 県: 76.8% 国: 73.5%)					
[事業目的] 本県独自の道徳教育用教材を作成・活用し、夢や目標を持った児童・生徒を育成する。また、保護者や地域参加型の道徳授業を開催し、相互連携を図る。											
[事業内容] ①「夢へのパスポート」を作成・配布し、小学1年生～中学3年生まで持ち上がり、夢の実現に向けて自分を振り返る学習を実施 ②保護者・地域参加型の道徳授業「親子で学ぶ道徳講座」の開催(市町委託)											
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	県が市町に委託し、保護者・地域参加型の道徳授業「親子で学ぶ道徳講座」を実施					他県の状況	すべての都道府県で国の道徳教育総合推進事業を実施				

道徳教育総合推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	三崎 光昭			
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	2,996	2,996						道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業委託金								
[予算額の推移等]														(単位：千円)		
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			3,646	3,338	2,745	3,009	2,996	児童数の減に伴うキャリアパスポートの印刷部数減による減額								
2月現計予算額の推移			3,646	936	2,534	2,908										
決算額の推移			2,990	936	2,329											
前年度までの 主な増減理由		令和元年度 中学校で新たな道徳の教科書を配布することに伴い「ふくいの希望」の作成を取りやめ 令和2年度 コロナ感染症の影響に伴う国の事業中止により、事業規模縮小 令和3年度 キャリアパスポートの印刷経費の見直しに伴う減額 令和4年度 キャリアパスポートの内容見直しによる増額														
[成果指標等の推移]																
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合(%)	(目標) 実績	(85) 81.0	(85) -	(85) 77.1	(85) 76.8	(85)	(90)	(90)	全国学力・学習状況調査の質問項目より設定						
活動指標	親子で学ぶ道徳講座実施校数(校)	(目標) 実績	(15) 15	(15) -	(15) 15	(15) 15	(15)	(15)	-							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
活動指標については達成できたが、成果指標については達成できなかった。外的要因として、コロナの影響により職場体験などの活動を伴う学習ができなくなったことにより数値が低下したと考えられる。				児童数の減に伴い、キャリアパスポートの印刷部数を削減。				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		13			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

小中学校タブレット端末活用モデル事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	県、市町	事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	三崎 光昭	R6 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]	関連する県の計画等		[福井県学校教育DX推進計画(仮称)]							
[解決すべき問題・課題] 授業や家庭学習において、一人一台タブレット端末の活用が進んでいない。						[問題・課題を表す客観的データ] [令和4年度 全国学力・学習状況調査] 授業においてPC・タブレット等のICT機器を「ほぼ毎日」使っている割合 (R4: 20.3%)					
[事業目的] タブレット端末の活用を通して、学校、家庭の両方から児童生徒一人一人の主体的な学び、個別最適な学びを実現するとともに、教員の授業づくり、指導を支援する。											
[事業内容] ○デジタル教科書の実証(35,266千円) ・モデル校を指定し、文部科学省が実施している「学習者用デジタル教科書実証事業」の導入教科に加えて、希望する指導者用・学習者用デジタル教科書を1教科導入する。 ・モデル校はICT機器の効果的な活用法の実践、検証、情報共有を行う。 ○プログラミング教育の推進(120千円) ・プログラミングに関するオンライン講座を開講し、参加する小学校を募る。											
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約13,000人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

小中学校タブレット端末活用モデル事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭		
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	35,386				35,386								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移							35,386						
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	授業においてPC・タブレット等のICT機器を「ほぼ毎日」使っている割合 (%)					20.3		(40)	(90)	全国学力・学習状況調査 令和4年度実績を倍増させ40%とし、令和6年度末時点で90%を目指す			
活動指標	デジタル教科書を週に1時間以上活用する学校数(校)							(205)	(257)	教育課程実施状況等調査 令和5年度80%、令和6年度100%を目指す			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

小中学校「ふくい理数グランプリ」事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H20 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度	三崎 光昭
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 学校の授業において、未知の自然事象や現象について探究していく楽しさに触れたり、自分の力量を図る機会は少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県学力調査において、算数・数学や理科の勉強が好きと答える児童生徒の割合 (R4 : 77.7%)					
[事業目的] 「ふくい理数グランプリ」を開催し、児童・生徒の数学・理科や科学技術に対する興味や関心を喚起し、科学的な思考力・表現力を育成する。											
[事業内容] ①ふくい理数グランプリ（小学校部門）の開催 小学生を対象とした「ふくい理数グランプリ」を開催し、算数、理科や科学技術に対する興味や関心を喚起 ②ふくい理数グランプリ（中学校部門）の開催 中学生を対象に、3人1組で日常生活にある課題を科学的に解明する理数グランプリを開催し、科学的な思考力・判断力を育成 ③中高接続のための「理数ゼミ」の開催 ふくい理数グランプリで上位に入賞した小学生、中学1、2年生を対象に専門の講師を派遣し、さらなる学力を向上 ④科学の甲子園ジュニア全国大会への対策 科学の甲子園ジュニア全国大会へ出場する福井県代表6名に対し、上位入賞対策を実施											
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約2,300人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいサイエンスプロジェクト事業 (役割分担) 高校部門 ふくい理数グランプリの開催 (高校教育課)			
市町との連携状況						他県の状況		石川県 夏休み期間を活用し、中学生サイエンスチャレンジを実施 富山県 夏休み機関を活用し、とやま科学オリンピック事業を実施			

小中学校「ふくい理数グランプリ」事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H20 年度 経過年数 16 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営					事業 区分						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,187			(諸) 452	735	受託事業収入 (科学の甲子園ジュニア都道府県代表選考費用支援)						
[予算額の推移等] (単位: 千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,177	1,189	1,187	1,187	1,187						
2月現計予算額の推移		1,177	1,189	1,187	1,187							
決算額の推移		878	483	660								
前年度までの 主な増減理由	令和元年度 印刷製本費の見直し 令和2年度 県内旅費単価の増額 令和3年度 理数グランプリ参加者数の実績に合わせて、保険料を見直し											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	算数・数学や理科の勉強が好きだと答える児童生徒の割合 (%) (目標)	(75)	(75)	(75)	(75)	(75)	(80)	(80)	科学好きの裾野の広がりについて、県学力調査 (SASA) の質問紙結果により算出。これまでの経年変化をもとに設定			
	実績	77.4	76.8	76.0	77.7							
活動指標	理数グランプリ参加者数 (人) (目標)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	(1,500)	事業の周知活動について参加者数より評価。児童生徒数が減少傾向にあるため、参加者数は現状維持を目標とする			
	実績	1,878	1,071	1,284	1,119							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は未達となった。 (外的要因) コロナによる申込者の不参加 一方、成果指標は昨年度より+1.7%となり、目標を大幅に超えて達成できた。				コロナによる影響で参加者数が減少したため、感染状況に応じて開催方法を検討する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

芸術教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度
事業実施方法	直営、補助								事業 経過年数	4 年	
補助率	1/3										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
平成29年度～平成31年度の第1期推進校がコンクールなどで優秀な成果を上げた。令和2年度から新たな推進校を指定し、県全体のレベルアップを図る						全日本吹奏楽コンクールにおいて、過去10回の金賞入賞回数 福井県 0回 石川県 3回 富山県 0回					
[事業目的]											
中学校・高校の吹奏楽部の活動を支援するとともに、弦楽器や絵画などの芸術を体験させ、感性や表現力を育成する。											
[事業内容]											
○吹奏楽活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校、高校の吹奏楽部に県内演奏家等を派遣 ・東京藝術大学と連携し、講習会を開催 ・全国大会に出場する吹奏楽部、合唱部に対し、旅費、楽器の運搬費などを支援 ○弦楽器奏者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校、高校の希望に応じて弦楽器を貸与し、県内外で活躍する弦楽奏者を派遣 ・合同練習会や発表会の機会を設け、合奏練習を実施 ・貸与希望校以外の生徒も弦楽器に触れる機会を提供するため、体験会を実施 ○文化芸術教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の希望に応じて、越前荒土を配布し、図工の授業で福井県の伝統工芸に触れる機会を提供 ・東京藝術大学生を講師として招き、中学校、高校の美術部対象研修会を実施 											
[受益者] 小中学生および高校生						[想定される受益者数] 約76,000人					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 吹奏楽活動推進事業 (実績) 中学校19校、高等学校7校を推進校として指定し、大型楽器の整備や合同練習を実施					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

芸術教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭		
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、補助												
補助率	1/3												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	14,433				14,433								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				28,751	14,754	24,010	14,433	大型楽器の購入支援を廃止					
2月現計予算額の推移				20,352	10,320	18,798							
決算額の推移				17,643	7,881								
前年度までの主な増減理由		・令和3年度 コロナ感染症の影響により、吹奏楽コンクールが中止となったため、大型楽器の購入支援を休止 ・令和4年度 吹奏楽コンクールの実施に伴い、大型楽器の購入支援を再開											
[成果指標等の推移]													
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	全国大会入賞校数(校)	(目標) 実績		(1) -	(1) 0	(1) 0	(1)	(1)	(1)	令和元年度時点で過去10年間の入賞校数が0校のため、1校の入賞を目指す			
活動指標	吹奏楽講師派遣回数(回)	(目標) 実績		(110) 76	(110) 70	(108) 95	(108)	(108)	-			毎年吹奏楽部のあるすべての学校に派遣する	
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
・活動指標は昨年度より+25校となったが、目標には届かなかった。 (外的要因) 例年の訪問時期にコロナの感染拡大中であり、講師が来県できない等、学校の受入れが困難であった。 ・今年度も入賞校はなく成果指標が未達となったが、小編成の全国大会となる東日本吹奏楽大会において、中学校・高校1校ずつ銀賞に入賞し、少しずつレベルアップしている。				計画どおりに令和4年度までに楽器の導入を終えたため、大型楽器の購入支援は廃止。 消耗品(越前荒土)の使用量を実績にあわせて削減。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	9,577	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

部活動地域移行研究事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	県、市町				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R4 年度
事業実施方法	直営、委託								事業 経過年数	2 年	
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 国の方針である部活動の地域移行を進めるにあたっては、指導者の確保、芸術文化団体等としての受け皿づくり、保護者負担と行政支援の在り方など調整すべき課題が多い。						[問題・課題を表す客観的データ] 文部科学省の教員勤務実態調査(H28)において、休日の学内勤務時間は全国平均で約3時間であり、部活動にかかる時間は約2時間である。 (吹奏楽部:2時間41分、合唱部:1時間9分)					
[事業目的] 令和5年度以降の休日の地域移行に向けた国の実践研究を県内モデル地域で実施し、各地域の実情に応じた課題の整理や今後の在り方を検討する。											
[事業内容] ○県内モデル地域において休日の文化部活動の地域移行を実践 ○県内有識者、文化団体等関係者による検討委員会を設置し、地域に応じた課題を整理 【研究テーマ】 ・学校との連携(教育指導、学校・保護者対応、兼職教員の負担) ・指導者の確保(指導者登録制度、教員兼業) ・地域部活動の運営への行政支援(受益者負担軽減、指導者支援)											
[受益者] ジュニア吹奏楽団員						[想定される受益者数] 100人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 部活動地域移行研究事業(保健体育課) (役割分担) 義務教育課:文化部活動の地域移行について検討 保健体育課:運動部活動の地域移行について検討			
市町との連携状況	県内市町をモデル地域に指定し、中学校において実践研究を実施					他県の状況		全国の都道府県、政令市において国庫事業を受託、拠点地域を選定し、実践研究を実施			

部活動地域移行研究事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額						地域部活動推進事業						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				700	700							
2月現計予算額の推移				700	700							
決算額の推移				381								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	調査対象者数（人） (目標) 実績			(100) 149	(100) 168		—	—	モデルの地域部活動に参加した生徒、保護者等 中間目標：県内全市町で部活動の地域移行に関する方針を検討 最終目標：全中学校・高校で生徒の個性を引き出す部活動を実施			
活動指標	実践モデル地域数（地 域） (目標) 実績			(1) 1	(1) 1		—	—				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は目標どおり達成。 成果指標は目標を大幅に超えて達成し、今後の方針検討に向けて生徒、保護者等幅広く意見を聴取することができた。なお、活動に参加した生徒のうち90%が指導に満足と回答した。 令和5年度からは地域文化部活動体制整備事業として実践していくため、本事業は終了。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

地域文化部活動体制整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県、市町				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R7 年度		
事業実施方法	補助金											
補助率	県1/2 市町1/2											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等			[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
国の方針である部活動の地域移行を進めるにあたっては、指導者の確保、芸術文化団体等としての受け皿づくり、保護者負担と行政支援の在り方など調整すべき課題が多い。						文部科学省の教員勤務実態調査（H28）において、休日の学内勤務時間は全国平均で約3時間であり、そのうち部活動にかかる時間は約2時間である。 (吹奏楽部:2時間41分、合唱部:1時間9分)						
[事業目的]												
令和5年度以降の休日の文化部活動について、国が示す改革推進期間（令和5年度～令和7年度）において、着実に地域へ以降し、地域において持続可能な生徒の文化部活動の機会を確保する												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○コーディネーター配置支援 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区レベルで、指導者の派遣管理、学校や文化施設との連絡調整・安全管理等を行うコーディネーターを配置 ○運営団体・実施主体の整備充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地域文化倶楽部活動の運営団体・実施主体の整備充実のため、持続可能な運営に向けた体制整備や質の確保に係る取組等を支援 ○文化部活動指導者配置支援等 <ul style="list-style-type: none"> ・休日の地域活動において、子どもたちに実技指導する者を配置 ○参加費用負担の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・経済的に困窮する世帯の子供が地域活動に参加することができるよう、地域移行に伴い新たに必要となる会費等について支援 												
[受益者] 文化部活動に参加する中学生						[想定される受益者数] 約4,500人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 部活動地域移行研究事業 (実績) 県内市町をモデル地域に指定し、中学校において実践研究を実施（令和3～4年度、敦賀市）					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域移行運動部活動体制整備事業（保健体育課）(役割分担) 義務教育課：文化部活動の地域移行について体制整備 保健体育課：運動部活動の地域移行について体制整備				
市町との連携状況	市町が設置する公立中学校について、休日の文化部活動の地域移行への取組みに対し、県が支援する。					他県の状況		国の方針を受け、全都道府県が休日の文化部活動の地域移行に取り組む。				

地域文化部活動体制整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助金							<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	県1/2 市町1/2							<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	4,112	1,000			3,112	地域部活動推進事業						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						4,112						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	休日の活動を地域に移行した部活動数(部活動) (目標) 実績					(17)	-	(80)	令和7年度末までにすべての休日の中学校の文化部活動を対象に地域に移行(約80部活動)			
活動指標	地域移行に取り組む市町数(市町) (目標) 実績					(4)	-	(17)	県内17市町			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
—				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

「引き出す・楽しむ教育」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度
事業実施方法	直営								経過年数	3 年	
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 子どもたちが将来、夢や希望を実現し、地域の担い手として活躍していくためには、一人一人が個性を発揮して、自らの可能性に挑戦し、一人では解決が困難な課題について、多様な人々と協働しながら乗り越えていく力が不可欠である。						[問題・課題を表す客観的データ] 全国学力・学習状況調査において『課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む子どもの割合』と回答した児童生徒の割合 (R4 : 78.2%)					
[事業目的] 子どもの自ら学ぼうとする力を育む特色ある学校づくりを推進する。											
[事業内容] 各学校の「引き出す・楽しむ教育」のテーマに応じた研修や意見交換会を実施											
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	各小中学校において、「引き出す・楽しむ教育」の実施テーマを設定					他県の状況					

「引き出す・楽しむ教育」推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営							□ 補助金		経過年数		
補助率	—							□ その他		3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	655			(諸) 655		教員指導力向上基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				1,002	1,002	655	児童・生徒参加の意見交換会の廃止による減					
2月現計予算額の推移				1,002	1,002							
決算額の推移				222								
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	「自ら考えて取り組む」子どもの割合(%) (目標) 実績	79.4	—	(80.0) 81.4	(80.0) 81.0	(80.0)	(82.5)	(85.0)	令和元年度の全国学力学習状況調査の実績をもとに設定			
活動指標	「引き出す・楽しむ教育」テーマ設定校の割合(%) (目標) 実績			(100) 100	(100) 100	(100)	(100)	(100)	全ての小中学校で設定			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
研修や意見交換会の実施により活動指標、成果指標ともに達成できた。				参加実績の少ない児童生徒による意見交換会は廃止し、教員対象の研修に集中して事業を実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	347	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井県学力調査データ処理業務委託事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭		
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]						
[解決すべき問題・課題] 福井県版の学力調査について、教員による採点および採点結果のデータ入力業務等が負担となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 事業実施前：担任等が行う業務時間数 ・小学校：30分×4教科×6,500人＝約13,000時間 ・中学校：30分×5教科×6,500人＝約16,250時間							
[事業目的] 県が実施する学力調査について、データ処理業務を外部委託し、教員の負担軽減や早期の授業改善を実施する。													
[事業内容] ○福井県学力調査の採点とデータ処理業務を委託 ○児童生徒による自己採点の導入 ○児童・生徒の採点結果の個人票を作成 ○児童・生徒の解答から新たな課題についての研究、記述式問題解答の分析													
[受益者] 小・中学校教員						[想定される受益者数] 4,100人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 元気ふくいっ子学力向上事業 (役割分担) 福井県学力調査の印刷費の一部を要求				
市町との連携状況						他県の状況			・34都道府県で学力調査を実施 ・28都道府県が学力調査を業者委託				

福井県学力調査データ処理業務委託事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,498				3,498							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			3,498	3,498	3,498	3,498						
2月現計予算額の推移			3,498	3,498	3,498							
決算額の推移			3,410	3,190								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	SASA実施満足度 (%)	(目標)	(70)	(72)	(75)	(75)	(90)	(90)	SASA実施後に教員に対してアンケート調査を実施 教員の負担軽減により70%から90%まで満足度の向上を図る			
		実績	97	97	97							
活動指標	SASA実施校割合 (%)	(目標)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	全ての小中学校で実施			
		実績	100	100	100							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・活動指標は目標どおり、成果指標は目標を大きく超えて達成。 ・教員が行っていた採点・入力業務を業者委託とすることで、教員の負担を大幅に削減できた。 ・調査実施後すぐに児童生徒が自己評価表を用いて自己採点しながら問題を振り返ることで、学習改善につなげることができた。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

ふるさと教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	県、市町				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R5 年度			
事業実施方法	直営、補助金										
補助率	1/2										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]				
[解決すべき問題・課題] 児童生徒が取り組んだ活動について、学校以外の場で発表する機会が少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] 全国学力・学習状況調査において、『地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか』において当てはまると回答した児童生徒の割合 R4 : 50.6%					
[事業目的] 児童生徒が地域の課題を見出し、課題解決に向けて他者へ発信する活動を通して、ふるさと福井に誇りや愛着を持ち、地域の魅力を発信できる人材を育成する。											
[事業内容] (1) 「ふるさと福井の魅力 プレゼンテーション大会」の開催 ・児童が自分の住む地域や福井県の魅力を調べて、タブレットなどでプレゼンテーションを実施 ・プレゼン能力向上のため、前田鎌利氏を講師に児童および教員対象に「プレゼン力向上セミナー」を開催 (2) 地域の観光資源の創出・発信活動の充実 ・実施校にはCMを作成するための動画編集ソフトなどの経費を支援 ・「ふるさと福井CMコンテスト」を開催 (3) 福井ふるさと教育フェスタの開催 ・『ふるさとの日』に小中学生によるふるさと教育の活動成果のステージ発表、パネル発表、パネル展示を実施 ・伝統芸能団体による伝統文化のステージ発表											
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふるさとの魅力発信推進事業 (実績) 令和3年度、『ふるさと教育フェスタ開催事業』と統合					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況	小中学校において、プレゼン大会、ふるさとCM、ふるさと教育フェスタなどに参加するため準備を実施					他県の状況					

ふるさと教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県、市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助金											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,061			(諸) 717	7,344	教員指導力向上基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				7,549	7,356	8,061	業務量削減のためCMコンテストにかかる映像編集等業務を外委託					
2月現計予算額の推移				7,549	7,356							
決算額の推移				5,648								
前年度までの 主な増減理由	令和4年度 補助学校数の減 (52校→51校)											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	地域や社会をよくするた めに考える児童・生徒の 割合 (%) (目標) 実績	51.8	-	(52) 51.5	(53) 50.6	(53)	(55)	(60)	令和元年度の全国学力学習状況調査の実績をもとに設定			
活動指標	ふるさと教育関連のイベ ントへの参加団体数 (団 体) (目標) 実績			(88) 63	(102) 130	(102)	(102)	(102)	CMコンテスト51団体、プレゼン大会15団体、ふるさと教育フェスタ36団体を目標とする。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
ふるさと教育フェスタ等の開催により活動指標は達成したが、成果指標については達成できなかった。事業による要因としては、コロナの影響によりR3年度にふるさと教育フェスタを中止としたことがあるほか、外的要因としてはコロナの影響による児童生徒が地域と関わる活動の減少が考えられる。				ふるさと教育関連のイベントへの参加団体数を増加させることで成果指標の達成にもつながると考えられるため、市町教育委員会への周知などを行い、イベントへの参加団体数の増加を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

公立小・中学校再編支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	市町	事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開 始 年 度	H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	R6 年度	R6 年度
事業実施方法	補助金										
補助率	1/2										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]	関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]							
[解決すべき問題・課題] 過疎化に伴う学校統廃合のため遠距離通学が必要になった児童生徒がいる。						[問題・課題を表す客観的データ] 小中学校の統廃合が進んでいる。 小学校数 H30: 190校 → R4: 184校 中学校数 H30: 75校 → R4: 74校					
[事業目的] 児童生徒数の減少にともない、小中学校の再編を進める市町や検討を始めている市町に対して、統合に対する保護者の不安解消や地域住民の合意形成など、学校再編を円滑に進めていくための支援を行う。											
[事業内容] ○統廃合によって遠距離通学になる児童・生徒を送迎するためのスクールバスの購入費を支援。 ・補助率：1/2 ・補助限度額：3,750千円（国のへき地児童生徒援助費等補助金に上乗せ補助）											
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約680人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

公立小・中学校再編支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H23 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	補助金							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
補助率	1/2							<input type="checkbox"/> その他		13 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	28,513				28,513							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					28,513	必要となるスクールバスの台数が増えたことによる増						
2月現計予算額の推移		3,720	7,500	7,500								
決算額の推移		3,720	0									
前年度までの主な増減理由	令和2年度：大野市 スクールバス1台導入 令和3年度：南越前町 スクールバス2台導入予定（令和4年度に繰越）											
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	スクールバスの購入台数(台)		1			-	-	市町の要望にもとづき予算措置する事業であり、指標の設定が困難である				
活動指標	補助を活用した市町数(市町)		1			-	-	市町の要望にもとづき予算措置する事業であり、指標の設定が困難である				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
-			-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

SNS相談事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]						
[解決すべき問題・課題] コロナ感染症の影響により、全国的に若者の自殺件数が増加傾向にある。そのため、若者の主なコミュニケーション手段となっているソーシャルメディアなどを利用して相談窓口を設け、未然防止、早期発見を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 日本全国における児童生徒の自殺者数 (R元: 399件 R2: 499件 R3: 473件) R3年度総務省調査、10代におけるコミュニケーション系メディアの平均利用時間 (ソーシャルメディア: 64.4分、メール利用19.6分、携帯電話: 8.4分)						
[事業目的] いじめや不登校の防止のため、ソーシャルネットワークサービス (SNS) 等を通じた相談窓口を開設し、中学・高校生からの相談に対応します。												
[事業内容] (1) 対 象 中学生および高校生 (43,000人) (2) 事業期間 夏季休業明け前後および土日祝日の17時から21時 (3) 実施形態 双方向の文字情報などによる相談												
[受益者] 中学生・高校生						[想定される受益者数] 43,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 いじめ電話相談事業 (役割分担) SNSでの相談者が自殺をほのめかすような緊急時や、時間外の相談については、自動応答機能で24時間電話相談ダイヤルを掲示し、そちらでの相談を促す。						
市町との連携状況						他県の状況 <input type="checkbox"/> SNS相談を長期休業明け後に実施する自治体 北海道、山形県、神奈川県、長野県、岐阜県、京都府 等 <input type="checkbox"/> SNS相談を隔年で実施している自治体 東京都、新潟県、三重県、岡山県、熊本県、名古屋市、大津市 等						

SNS相談事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	14,245	4,748			9,497	教育支援体制整備事業費補助金(いじめ対策総合推進事業)						
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			4,189	15,316	15,316	14,245	委託先の経費節減による減額					
2月現計予算額の推移			11,181	15,316	15,316							
決算額の推移			11,181	11,634								
前年度までの 主な増減理由	令和3年度 相談実施期間を延長したため増額											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	相談・指導を受けていない不登校生徒(%) (目標) 実績		(10.0) 10.3	(10.0) 8.4	(10.0)	(10.0)	(8.0)	(8.0)	平成30年度の実績が10%強だったため、10%未満となるよう多様な相談窓口を設け、相談を受けた生徒を関係機関につなげる。			
活動指標	相談件数(件) (目標) 実績		(100) 792	(490) 529	(660)	(660)	-	-	実施自治体の実績と、本件の対象生徒数・相談窓口開設日数から算出。 1日5件×相談窓口開設日数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標、成果指標ともに数字が判明するのは4月以降。 3年度はSNSによる相談事業の周知・実施により、成果指標の相談・指導を受けていない不登校生徒の割合が目標を達成した。				コロナウイルス感染症の影響により、対面でのカウンセリングなどの機会が減少しているため、SNS相談やいじめ電話相談について広く周知し、相談・指導を受けていない生徒の割合の低下を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,071	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

弁護士を活用した「いじめ予防授業」実施事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度
事業実施方法	直営			事業経過年度		4 年					
補助率	—										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] いじめの積極的な認知に伴い、いじめの件数は増加傾向にあり、その内容も多様化している。いじめを予防することは重要な課題であり、そのためには児童生徒がいじめに対する理解を深める必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 授業前の事前アンケート ・いじめに関する理解度(何がいじめに該当するか) R3 : 76.6%					
[事業目的] 弁護士によるいじめの予防授業を実施することで、いじめに対する児童生徒の理解を深め、いじめの発生を予防する。											
[事業内容] ○いじめ予防授業の実施 小中学生を対象に、弁護士が人権を守る重要性やいじめの法律上の扱いを示し、児童生徒は事例をもとにいじめについての理解を深める授業実施校に市町の担当者や他校の教員を集め、授業後、弁護士による勉強会や教員間での意見交換会を実施 ○校長講習の実施 いじめ対策のポイント、いじめ未然防止の重要性、予防授業の効果を周知 ○事業成果の全小中学校との共有 予防授業や勉強会などの内容を学校と共有し、日常の授業で活用											
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

弁護士を活用した「いじめ予防授業」実施事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,110				1,110							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			1,104	1,104	1,110	1,110						
2月現計予算額の推移			1,104	1,104	1,110							
決算額の推移			762	1,015								
前年度までの 主な増減理由	令和4年度 いじめ予防授業の謝金単価を見直し (50,000円→30,000円) いじめ予防授業の実施回数を増加 (17回→35回)											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	いじめに対する理解度 (目標)		(80)	(80)	(80)	(80)	(85)	(90)	いじめ予防授業後のアンケートにおいて、児童生徒のいじめに関する理解度 (どのような行為がいじめにあたるか等の理解度)			
		実績	82.1	83.9	82.3							
活動指標	いじめ予防授業実施回数 (目標)		(17)	(17)	(35)	(35)	(35)		実施希望校数の増に伴い、R2、3年度の開催実績をもとにR4年度から目標値を35校に設定			
		実績	13	24	35							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
県内35校において、弁護士による「いじめ予防授業」を実施したことにより、成果指標のいじめに対する児童生徒の理解度が目標を達成した。				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

幼児教育支援事業

区分	継続	経費区分	政策的・標準外	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H25 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]						
[解決すべき問題・課題] 幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、子どもが質の高い教育を受けられるようにする必要がある。また、核家族化や地域とのつながりの希薄化が進み、子育て世代の保護者が悩みを抱えやすい状況にある。						[問題・課題を表す客観的データ] 保育所等の入所率の増加や核家族化の進行により保育所等における幼児教育力向上の必要性が増している 保育所等入所率の推移 (0~5歳児総数) H27 : 73.8% → R 4 : 81.1% 3世代同居率の低下 H17 : 18.6% → H27 : 15.0%						
[事業目的] 幼児教育支援センターを拠点として、幼児や家庭の教育力向上のための研修などを実施する。												
[事業内容] (1) 幼児教育相談員配置事業 ・保育所などの巡回訪問・指導などを担当する「幼児教育アドバイザー」を配置 ・家庭教育の向上を図り、家庭の自立を支援する「家庭教育アドバイザー」を配置 (2) 幼児教育指導力向上事業 ・幼児教育力向上会議の開催 ・幼児教育のリーダー（市町幼児教育アドバイザー、園内リーダー）の養成 幼児教育の質向上のための園訪問による実践研修、事例検討会等の実施 ・幼小接続カリキュラムに基づく教育の推進 幼小接続講座の開催 (3) 遊び活性化プロジェクト事業 ・童謡や唱歌を通じた家族のふれあい促進												
[受益者] 幼稚園、保育所、認定こども園の園児および小学生						[想定される受益者数] 36,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町幼児教育アドバイザーによる幼稚園、認定こども園、新規採用教員研修の実施					他県の状況	幼児教育センターの設置状況 ・福井県：平成24年11月 ・富山県：平成31年4月 ・石川県：平成28年4月					

幼児教育支援事業

区分	継続	経費区分	政策的・標準外	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭					
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H25 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度					
事業実施方法	直営															
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	5,905	88			5,817	教育支援体制整備事業費交付金										
[予算額の推移等] (単位：千円)																
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		14,552	7,008	9,715	8,074	5,905	「幼稚園におけるICT化支援事業」の廃止 コピー用紙経費および複写機使用料の減									
2月現計予算額の推移		12,476	3,670	3,475	3,052											
決算額の推移		12,238	3,304	3,114												
前年度までの主な増減理由	令和元年度 動揺で伝える会の開催回数減（2回→1回） 令和2年度 会計年度任用職員分を教育政策課で要求したため減額 令和3年度 幼稚園のICT化整備支援事業の追加 令和4年度 幼稚園のICT整備支援事業の実施箇所数の減（4か所→2か所）															
[成果指標等の推移]																
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	園内リーダー認定者の在籍する園の割合（%）	(82)	(85)	(87)	(88)	(89)	(90)	(100)	教育振興計画における目標値90%に向けて各年度目標値を設定							
		実績 86	86	89	89											
活動指標	園内リーダーの研修修了者（人）	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	過去の事業実績から目標値を設定							
		実績 92	-	109	87											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
・活動指標は当初達成見込みであったが、未達成となった。 (外的要因) コロナ対応等により修了できない受講者が出たため ・成果指標は養成研修の実施により、目標を達成した。				市町の申請見込みのない「幼稚園におけるICT化支援事業」の廃止				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,169					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

英語力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)]	政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]			関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
学習指導要領では4技能の育成が強く求められており、その育成には英語力の客観的な評価と指導改善および学習改善が必要である。						R4年度に実施したGTECの結果で全国平均を下回っている技能がある。 (県 : 読む97.0点、聞く103.1点、書く168.7点、話す101.3点) (全国 : 読む99.0点、聞く104.0点、書く153.0点、話す97.0点)						
[事業目的]												
国際社会で求められる英語力について、生徒が自身の英語力を把握するための一助として外部検定試験を活用し、英語学習に対する意欲向上を図る。												
[事業内容]												
(1) 英語教育地域人材バンク事業 ・県内在住の英語を話せる人材データベースを作成し、小学校における外国語活動や外国語科の授業および英語関係の行事などで活用し、児童の英語力向上を図る (2) 児童生徒の英語力向上 ・グローバル社会で求められる英語力について、その学習状況を把握する一助として外部検定試験を活用し、本県生徒の英語力および英語学習に対する意欲の向上を図る												
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

英語力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			□ 補助金				■ その他				
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	36,700	245			36,455	教育支援体制整備事業費補助金（補修等のための指導員等派遣事業）						
[予算額の推移等]												(単位：千円)
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		33,335	35,982	35,832	36,559	36,700	外部検定試験の単価引き上げに合わせて増額					
2月現計予算額の推移		33,335	35,982	36,267	35,862							
決算額の推移		32,646	34,435	35,527								
前年度までの 主な増減理由	令和2年度 外部検定試験の単価の見直しに伴い増額 令和3年度 外部検定試験受験率の実績に合わせて減額 令和4年度 外部検定試験受験率の実績に合わせて増額											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	中学卒業時にCEFR A1相当以上の英語力を持つ生徒の割合(%) (目標)	(52.5)	(56.0)	(65.0)	(65.0)	(65.0)	(65.0)	(70.0)	福井県教育振興基本計画の目標数値 コロナの影響により、令和2年度の文部科学省の調査が中止			
		実績 61.4	-	85.8								
活動指標	中学3年生の外部検定試験受験者の割合(%) (目標)	(90.0)	(90.0)	(90.0)	(90.0)	(90.0)	(90.0)	(90.0)	ほぼ全員の受験を目指す			
		実績 91.6	89.8	92.9	95.0							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
外部検定試験の全額補助等により、活動指標は昨年度より+2.1%となり、目標を大きく超えて達成した。成果指標の結果が判明するのは4月以降。				外部検定試験受験料の増額に伴い予算額増額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

外国人児童生徒等支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	県、市町				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H31 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R6 年度	
事業実施方法	直営、補助										
補助率	2/3 (国1/3、県1/3)										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画、多文化共生推進プログラム]					
[解決すべき問題・課題] 日本語指導が必要な児童生徒数は増加傾向にあり、使用言語の多様化が進むとともに、集住化、散在化の両方の傾向がみられるようになっており、それぞれの地域の実情に応じたきめ細かな支援が必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 日本語指導が必要な県内の児童生徒数 R2 : 224名 R3 : 225名 R4 : 233人					
[事業目的] 日本語指導が必要な児童生徒に対する支援体制を強化し、外国人児童生徒の教育の充実を図る											
[事業内容] (1) 外国人児童生徒が在籍する小中学校に日本語指導員を配置し、「特別な教育課程」による日本語指導を実施 ・児童生徒一人一人にあった個別指導計画の作成 (2) 翻訳機の整備を支援 ・学校での外国人児童生徒、保護者との面談などコミュニケーションツールとしての活用方法を検証 (3) 日本語指導アドバイザーによる学校訪問、連絡協議会の開催 ・日本語指導アドバイザーによる学校訪問やオンラインでの相談支援 ・県、市町、学校関係者による連絡協議会を開催し、成果報告や検証結果の普及啓発											
[受益者] 外国人児童生徒						[想定される受益者数] 約200人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	・市町が独自に配置する支援員と連携し、日本語指導が必要な外国人児童生徒への個別指導や教室で授業を受けられる外国人児童生徒に対するチームティーチングを実施					他県の状況					

外国人児童生徒等支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	教育庁	課名	義務教育課		課長名	三崎 光昭		
事業主体	県、市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H31 年度		事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											経過年数			
補助率	2/3 (国1/3、県1/3)											5 年			
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	23,558		11,710				11,848		教育支援体制整備事業費補助金（帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業）						
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			11,211	15,515	18,873	21,386	23,558	日本語支援員の配置人数の拡充							
2月現計予算額の推移			10,298	15,515	18,873	19,966									
決算額の推移			8,398	14,516	15,364										
前年度までの 主な増減理由		令和2年度 鯖江市に対して新たに支援 令和3年度 日本語支援員の配置人数・配置時間の拡充 令和4年度 日本語指導アドバイザーを外国人児童生徒の散在する地域に派遣													
[成果指標等の推移]															
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	「特別の教育課程」による日本語指導の実施状況 (%) (目標)				(50)	(50)	(50)	(50)	(100)	文部科学省による調査が隔年で実施されており、令和2年度はコロナの影響により中止					
	実績		-	-	45.8	57.2									
活動指標	日本語指導員の配置人数 (人) (目標)									市町の要望に応じて配置するものであり、数値目標の設定は適当ではない。					
	実績		7	9	10	10									
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和5年度の変更点					事業評価					
日本語支援員の配置やアドバイザーの派遣により、成果指標は昨年度より+11.4%となり、目標を大きく超えて達成した。					日本語指導が必要な児童生徒数の増に伴い日本語支援員の配置拡充					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
										<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

嶺南嶺北体験・探求活動支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭
事業主体	市町	事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	補助金										
補助率	定額										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [I 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、福井を愛する子どもの育成]	関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
小中学校において、校外学習で嶺北・嶺南間の訪問をする子どもの数は減少傾向にある。						福井県教育課程実施状況等調査の項目から『嶺北から嶺南、嶺南から嶺北へ訪問した児童生徒数』 R元：5,228人（総児童生徒数のうち約8.5%）					
[事業目的] 小中学校の校外学習や放課後子どもクラブにおける活動の一環として、福井の文化や芸術に触れる機会や、嶺北あるいは嶺南を訪問することによる広域的な学習機会の提供											
[事業内容] ○嶺北から嶺南、嶺南から嶺北の体験・探究施設での活動に係る経費を補助 ・小・中学校 バス1台当たり 約30,000円 ・放課後子どもクラブ 1クラブ当たり 50,000円											
[受益者] 小中学生						[想定される受益者数] 約60,000人					
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

嶺南嶺北体験・探求活動支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	義務教育課	課長名	三崎 光昭	
事業主体	市町				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,100				3,100							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			6,400	6,600	6,400	3,100	補助制度の見直しに伴う減額					
2月現計予算額の推移			2,039	2,502	2,183							
決算額の推移			1,147	1,305								
前年度までの 主な増減理由	令和3年度 補助対象団体数の増加に伴い増額 令和4年度 補助制度の見直しに伴う減額											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	嶺北・嶺南を往来し、体験活動などを実施した児童生徒数(人) (目標)		(7,400)	(7,400)	(7,400)	(7,400)	(7,400)	(7,400)	平成27年度の実績より設定			
	実績	5,228	12,459	16,397	9,332							
活動指標	補助を活用した団体数(団体) (目標)		(200)	(200)	(200)	(90)	(90)	小中学校70クラス 子どもクラブ20クラブ				
	実績		41	61	50							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
活動指標は未達となった。 (外的要因) コロナの影響により校外活動が自粛される事例が多かったため 一方、成果指標は目標を大きく上回った。 (外的要因) 修学旅行が県内で実施されているため				小中学校での活動については、過去の実績を考慮し、実施団体数を見直し。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,300	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		